

承認番号	2019-068
研究課題名	地域のPOT(PCR-based ORF Typing)法による分子疫学解析結果の情報共有に関する検討
研究の意義・目的	院内感染対策を強化するために、薬剤耐性菌(薬が効かない細菌)等の地域での蔓延状況を細菌の遺伝子検査(POT法による分子疫学解析)を用いて調査する目的です。
研究を行う期間	2020/2/10~2026年12月31日
研究対象者の範囲	2020年1月以降入院された患者様から検出された遺伝子検査が実施可能な菌(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌:MRSA、緑膿菌、アシネトバクター菌、薬剤耐性大腸菌、クロストリジウム菌)が検出され、菌の遺伝子解析を実施した方が対象です。
お願いする内容	□大阪市立大学医学部附属病院で研究いたします。
	<u>本研究への情報提供の協力がえられた関西の医療機関から試料・情報の提供を受けて研究します。</u> 患者様から検出された細菌の分子疫学解析情報を使用致します。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学 中家 清隆
この研究を行っている施設(共同研究機関)	研究責任者:大阪公立大学大学院・教授・掛屋 弘
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/infectioncontrol/
研究の成果を公表する方法	院内感染対策・感染症関連の学会及び論文で発表予定です。
研究に協力をしたくない場合	<u>本研究では、細菌の遺伝子検査結果をだれのものかわからないようにして研究に使用いたします。結果を使用する前であれば、本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。</u>
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学 TEL:06-6645-3784 FAX:06-6646-6056 担当者:中家 清隆(なかいえ きよたか)